

## 日本天文学会 早川幸男基金による 渡航報告書

16th IAP meeting

### CONSTRUCTING THE UNIVERSE with CLUSTERS OF GALAXIES

2000年7月4日から8日まで、フランスの Institut d'Astrophysique de Paris (IAP) を会場に表記の国際研究会が開催されました。今回、私にとって初の海外での研究会参加となりました。会期中、雨の日が多く天候にはそれほど恵まれませんでしたが、日の長い初夏のバリで快適に研究会に参加することができました。

この研究会では、宇宙の構造形成および進化の解明のために最も重要な天体の一つである銀河団に関する最新の研究成果が持ち寄られ、議論が交わされました。銀河団は銀河・X線放射ガス・暗黒物質からなる大質量系であり、そのため観測する波長帯および手段（サブミリ、可視、X線、重力レンズなど）によって系の物理状態や質量分布に関する様々な情報を知ることができます。

私自身は、背景銀河像に対する弱い重力レンズ効果を利用した、「ハッブル宇宙望遠鏡」で撮像観測された遠方銀河団領域における質量集中検出の研究成果をポスター形式で発表しました。会期中、重

力レンズ研究者やその銀河団領域をX線解析した研究者と議論することができ、今後の研究進展のためにも非常に有益でした。特に、議論を通して、このような弱い重力レンズ効果の研究には集光能力が高く広視野撮像が可能な「すばる望遠鏡」が適しているとの認識を強めました。

私は会期中 IAP のすぐ側にある学生寮に滞在しましたが、研究会参加者も何人か宿泊しており、朝食の時などに同世代の研究者と気楽に話をする機会を持ってました。経済的利点以外にも、このような点で寮生活は非常に有意義でした。

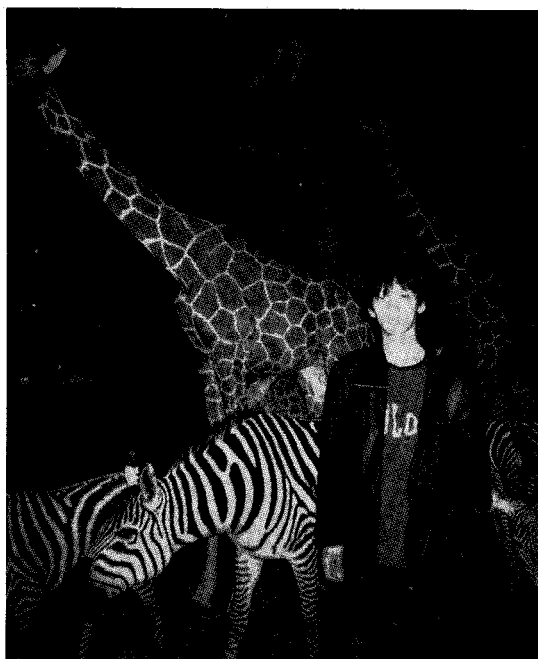
今回の渡航を通して、紙面では伝え切れないほ

どの様々な貴重な経験をすることができました。会期中、東大の須藤さん、福重さん、山形大の滝沢さん、京大の吉川くん、IAPの浜名さん、そして東北大の服部さんには大変お世話になりました。また、寮滞在費を援助していただいた IAP の関係者にはこの場を借りて心からお礼を申し上げます。

最後になりましたが、貴重な渡航を支援していただいた日本天文学会早川幸男基金に深く感謝いたします。ありがとうございました。

梅津 敬一

(東北大学大学院理学研究科天文学専攻博士課程)



会議後、バリ植物園内の進化大陳列館にて動物の進化をたどる筆者。